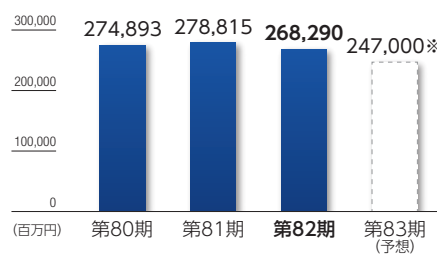


KAMIGUMI
REPORT株主の皆様へ／トップインタビュー
中期経営計画の達成に向け、
基幹事業の強化など各種施策に取り組みます。部門別概況
連結財務ハイライト
連結財務諸表
Topics
新型コロナウイルスへの対応
Close-up
サステナビリティ
株式の状況／会社の概要

■営業収益

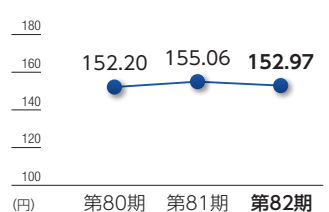
268,290百万円 3.8%減



※第83期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、第83期の予想値は当該会計基準等を適用した後の金額となっています。

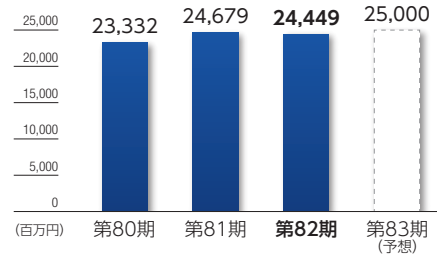
■1株当たり当期純利益 (EPS)

152.97円 1.3%減



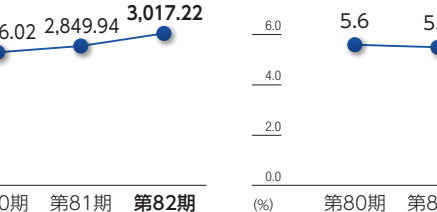
■営業利益

24,449百万円 0.9%減



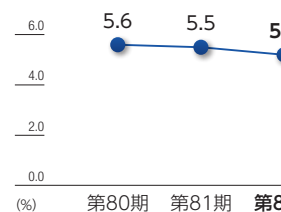
■1株当たり純資産額 (BPS)

3,017.22円 5.9%増



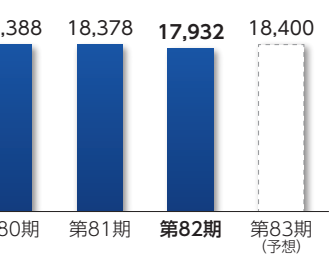
■自己資本利益率 (ROE)

5.2% 0.3ポイント減



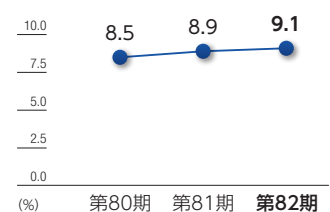
■親会社株主に帰属する当期純利益

17,932百万円 2.4%減



■営業収益営業利益率

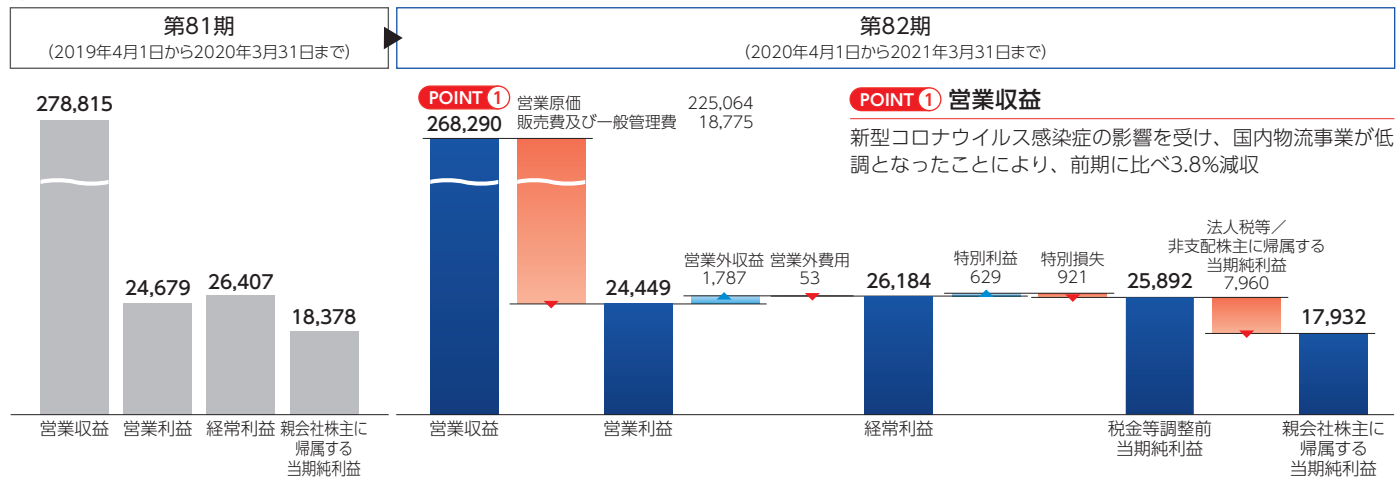
9.1% 0.2ポイント増



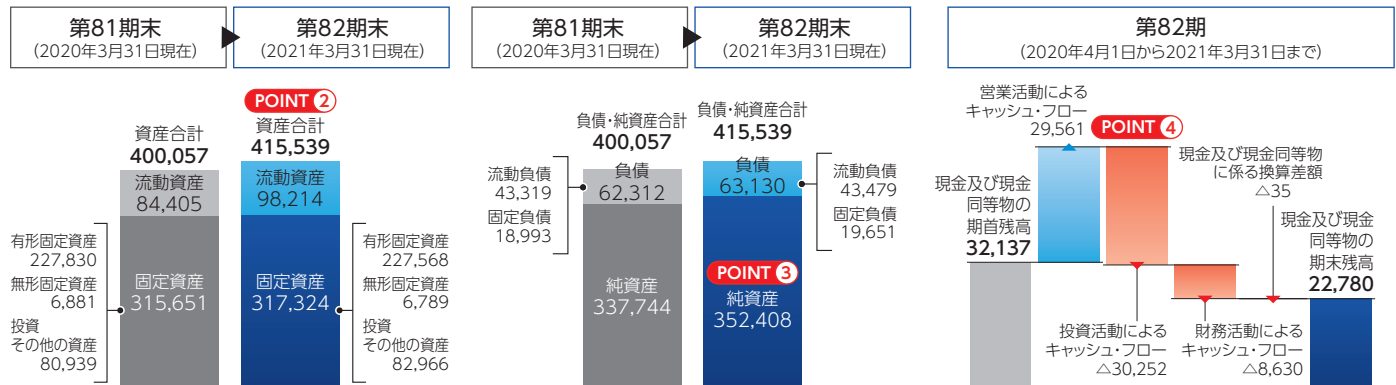
連結財務諸表

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

■連結損益計算書の要旨 (単位:百万円)



■連結貸借対照表の要旨 (単位:百万円)



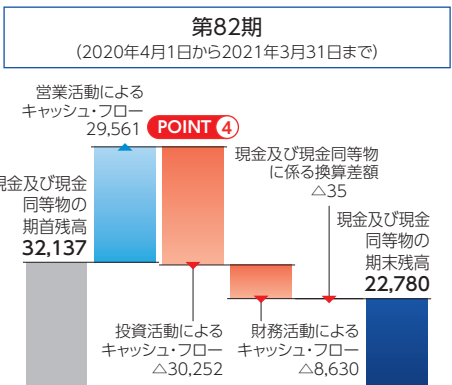
POINT ② 総資産

「有価証券」、「投資有価証券」および「受取手形及び営業未収入金」が増加したことなどにより、前期末に比べ3.9%増加

POINT ③ 純資産

親会社株主に帰属する当期純利益を計上し「利益剰余金」が増加したことなどにより、前期末に比べ4.3%増加

■連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 (単位:百万円)



POINT ④ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有価証券の取得による支出160億円、固定資産の取得による支出121億55百万円などにより、302億52百万円の純支出

■株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 250,000,000株
発行済株式の総数 129,066,837株
株主数 6,904名

大株主 (上位10名)

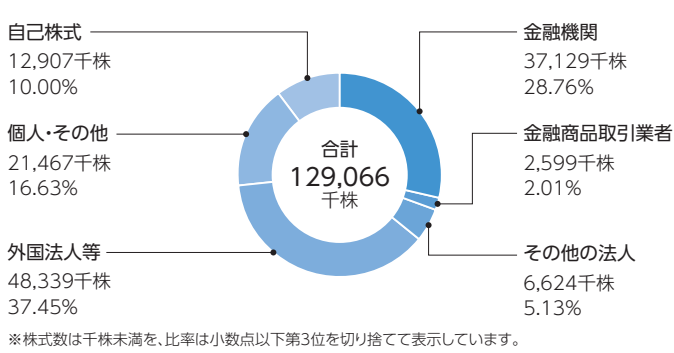
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	9,702	8.35
かみぐみ共栄会	7,010	6.03
(株)日本カストディ銀行(信託口)	4,832	4.16
上組社員持株会	3,186	2.74
全国共済農業協同組合連合会	2,772	2.38
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	2,736	2.35
(一財)村尾育英会	2,456	2.11
日本生命保険(相)	2,271	1.95
住友生命保険(相)	2,250	1.93
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	2,102	1.81

※1 自己株式12,907千株は、上記大株主から除いています。

※2 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。

※3 持株比率は自己株式を控除して算出し、小数点以下第3位を切り捨てて表示しています。

■所有者別株式分布状況 (2021年3月31日現在)



■会社の概況 (2021年3月31日現在)

商号	株式会社 上組 (Kamigumi Co.,Ltd.)
創業	1867(慶応3)年(設立:1947年2月28日)
資本金	31,642,266,011円
従業員	3,779名(連結:4,335名)
本店	神戸市中央区浜辺通四丁目1番11号
国内物流事業	港湾運送事業、倉庫業、貨物自動車運送事業、倉庫工場荷役請負業等
国際物流事業	国際運送取扱業
その他	重量貨物運搬据付業、不動産賃貸業、物品販売業、酒類製造販売業等

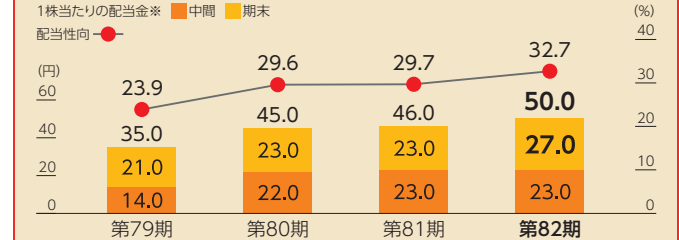
■役員 (2021年4月1日現在)

取締役	監査役
代表取締役会長 久保 昌三	常任監査役(常勤) 小林 保男
代表取締役社長 深井 義博	監査役(社外) 宗吉 勝正
代表取締役専務 田原 典人	監査役(社外) 中尾 巧
代表取締役常務 堀内 敏弘	監査役(社外) 黒田 愛
代表取締役常務 村上 克己	
取締役 平松 宏一	
取締役 長田 行弘	
取締役 椎野 和久	
取締役(社外) 石橋 伸子	
取締役(社外) 鈴木 三男	

株主様への還元方針

当社は、業績推移や内部留保とのバランスなどに配慮しつつ、連結配当性向30%を目安に、業績に連動した株式配当を実施してまいります。
また、自己株式の取得についても継続実施を基本方針とし、総還元の充実と資本効率の向上を目指して機動的に判断してまいります。
なお、中期経営計画期間中は、さらなる還元強化に取り組み、第84期から第86期においては連結配当性向40%を目安に株式配当を実施いたします。

配当金と連結配当性向の推移



中期経営計画の達成に向け、 基幹事業の強化など各種施策に取り組みます。

株主の皆様には、格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

当社は中期経営計画の1年目として、基幹事業の強化や新たな成長基盤の創出に向けた取り組みを進めたものの、第82期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、わずかに前期を下回りました。

当期の概況と来期以降の主な取り組みについてご説明いたします。

代表取締役社長 深井 義博

Q 第82期(2021年3月期)の 経営環境と業績について

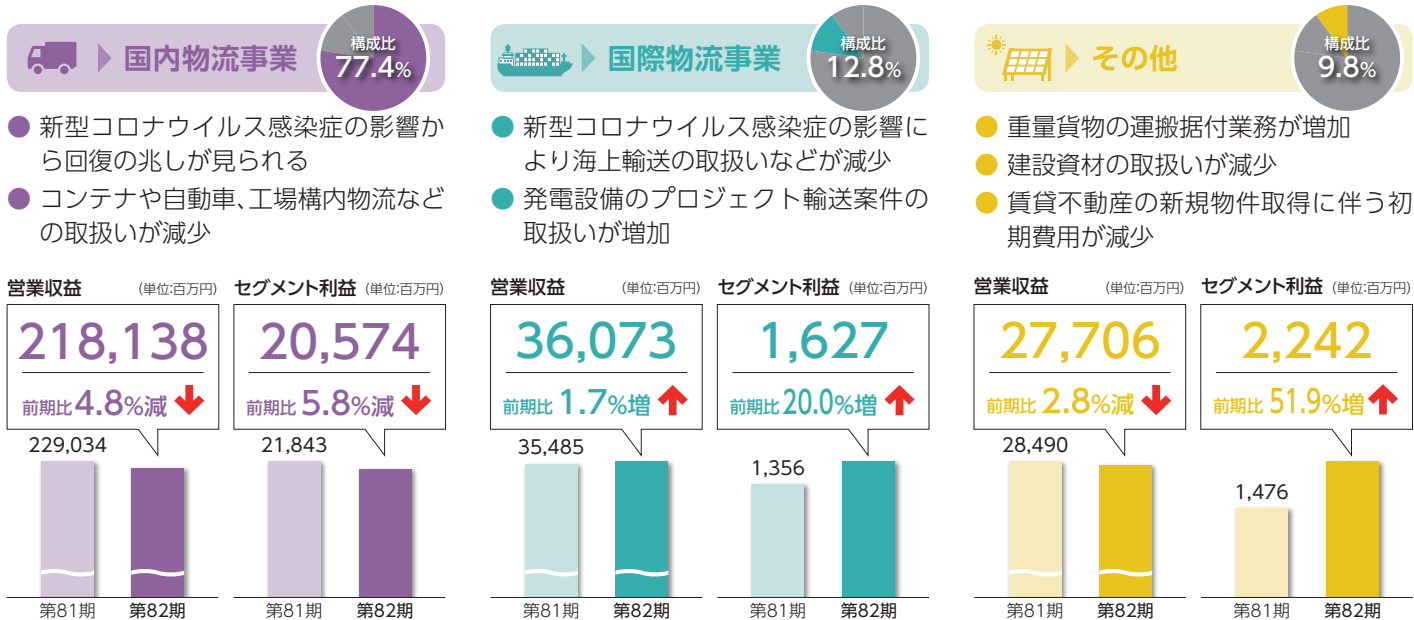
A 当期の物流業界は、国内貨物や輸出入貨物の取扱いは回復基調ではあるものの、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、経営環境は厳しい状態が続いています。

当社グループは、神戸市に冷蔵倉庫を新たに建設するなど、グループ企業のネットワーク・事業基盤の強化を図り、社会インフラを支える企業として、顧客ニーズを取り込んだ物流サービスを行ってまいりました。

しかしながら、当期における営業収益は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国内物流事業が低調となったことにより、前期に比べて3.8%減収の2,682億90百万円となりました。利益面については、営業利益は前期に比べて0.9%減益の244億49百万円、経常利益は前期に比べて0.8%減益の261億84百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、災害損失の計上などにより、前期に比べて2.4%減益の179億32百万円となりました。

部門別概況

Segment Review



Topics

上組グループトピックス

2020年9月

日本ポート産業(株)にて 第1期建替工事「神戸住吉冷蔵倉庫」竣工

当社連結子会社の日本ポート産業(株)は、既存の冷蔵倉庫(神戸市)2棟の経年劣化および冷凍冷蔵倉庫の需要増加に対応すべく、建替工事を行い、2020年9月に第1期建替工事が完了し「神戸住吉冷蔵倉庫」を竣工しました。同倉庫では「高効率で環境負荷の少ない施設」をコンセプトに、自然冷媒設備や自家消費型太陽光パネルを設置し、保管、配送、解凍、急速凍結等の機能を有した多機能冷凍冷蔵倉庫となっています。

また、第2期建替工事として、既存倉庫跡地に「神戸魚崎冷蔵倉庫」(仮称)建設を計画しており、2022年12月竣工予定です。なお、建替工事完了後の収容能力は以前の約1.5倍となり、高まる需要に対応します。

同社の冷凍冷蔵倉庫運営のノウハウと営業基盤を活かし、当社物流ネットワークとの相乗効果により、高品位な物流サービスの提供を図ります。



▲神戸住吉冷蔵倉庫の外観

施設名称	神戸住吉冷蔵倉庫
所在地	神戸市東灘区住吉浜町18番地12
敷地面積	8,975.72㎡
延床面積	17,898.48㎡
構造	鉄筋コンクリート造 4階建
収容能力	急速冷凍庫(-40℃)：690トン、F級(-25℃)：15,300トン
主要設備	C&F級(-25℃～+5℃)：5,450トン、解凍作業室、垂直搬送機3基、太陽光発電(能力：450.18kW)
竣工日	2020年9月30日



2020年12月

鹿児島県志布志市に「サニープレイス志布志」竣工

2020年12月、当社志布志支店の社宅跡地に事業用賃貸物件としては17件目となるマンション「サニープレイス志布志」を竣工しました。当マンションは高台に位置し、全室南向きで日当りに優れるほか、システムキッチンやゆとりのあるバスルームを設置するなど設備面も充実しています。当社は保有資産の効率化とさらなる収益基盤の拡充に努めてまいります。



▲サニープレイス志布志の外観

施設名称	サニープレイス志布志
所在地	鹿児島県志布志市志布志町志布志2032-4
施設概要	2、3階建(計2棟)／軽量鉄骨造／全21戸／駐車場39台
竣工日	2020年12月24日

2021年2月

名古屋港に「潮見モータープール」竣工

名古屋港潮見埠頭内に、約1,100台の完成車保管能力を有する「潮見モータープール」を竣工しました。同施設は名古屋港内に位置し、伊勢湾岸自動車道の名港潮見インターチェンジにも近接しているため、海路・陸路共に利便性が高く、完成車の各地への配送に適した好立地となっています。当社は各地で自動車メーカーから完成車保管業務を受託しており、本モータープールの竣工により、自動車取扱事業のさらなる収益拡大に努めてまいります。



▲潮見モータープールの全景

施設名称	潮見モータープール
所在地	愛知県名古屋港区潮見町15
敷地面積	28,635.83㎡
業務内容	完成車の搬入・保管業務
保管能力	約1,100台
竣工日	2021年2月5日

Close-up

当社WEBサイトの採用ページをリニューアル

2020年7月より、中期経営計画に定める重点戦略の一つである「人材確保・育成強化に向けた取り組み」として当社WEBサイト採用ページをリニューアルしました。

少子化や求人倍率の上昇により採用環境は厳しさを増す中、仕事のやりがいやタイムスケジュールなどを具体的に紹介し、当社事業の魅力を発信することで、総合物流企業にふさわしい企画力・提案力・実行力を備えた人材の確保を図ってまいります。



▲当社WEBサイト採用トップページ



▲採用ページ内コンテンツ「社員と仕事について」

URL: <https://www.kamigumi.co.jp/recruit/>



新型コロナウイルスへの対応

当社グループは、社会基盤を支える企業として、新型コロナウイルス対策本部のもと、さまざまな対策を行っております。お客様をはじめとする関係者、従業員と家族の健康と安全を第一に考え、事業の継続に最優先で取り組んでまいります。

全社対応	
● 時差出勤の励行	● 在宅勤務の一部実施
● マスクの着用、座席周辺にアクリル板の設置、消毒作業の実施	
● TV会議や電話会議の活用	● 出社前の検温実施
● 出張や関係先への訪問自粛	● 事務所の分散 など

感染者確認事務所	
● 保健所指導による職域の消毒作業	
● 接触者のPCR検査受診	※上記「全社対応」も併せて実施

計画中的新倉庫のご紹介

京浜地区における輸入青果物や穀物、食品などの定温貨物の需要拡大に応え、安定的なサービスを提供するため、東京港、横浜港において既存倉庫に隣接する全室定温機能を備えた新倉庫を建設することを決定しました。各倉庫の概要は以下の通りです。

「南本牧埠頭倉庫(仮称)」



▲南本牧埠頭倉庫(仮称)の完成予想図

施設名称	南本牧埠頭倉庫(仮称)
所在地	神奈川県横浜市中区南本牧3番10、11
竣工予定	2021年8月

「上組東京多目的物流センター新倉庫(仮称)」



▲上組東京多目的物流センター新倉庫(仮称)の完成予想図(右側が新倉庫)

施設名称	上組東京多目的物流センター新倉庫(仮称)
所在地	東京都江東区海の森1丁目3-4
竣工予定	2022年4月

サステナビリティ

姫路出張所の定温・冷蔵設備を環境にやさしい自然冷媒に更新

2021年3月、姫路出張所の姫路港定温冷蔵倉庫と姫路港多目的物流倉庫の定温・冷蔵設備をアンモニア(NH₃)と二酸化炭素(CO₂)を組み合わせた自然冷媒を使用する設備に更新しました。現在冷媒の主流となっている代替フロン類(R410Aなど)は地球温暖化係数(GWP※)が2,000以上と大きく、国際条約では将来的な消費量の削減が義務づけられています。一方、今回採用した自然冷媒のGWPはCO₂が1、NH₃は1以下であり、地球環境にやさしい設備になっています。また、2種類の冷媒を組み合わせることで、冷却効率の向上を図り、これまでの設備と比べ、消費電力を約30%削減できる見込みです。

なお、毒性・臭気性のあるNH₃の使用にあたって、使用範囲を密閉した機械室内に限定することで使用量を最小限に抑えるとともに、地震などで漏洩した場合に備え、停電時でも作動する除害装置を設置するなどの安全対策を行っています。当社は今後も省エネ設備の導入や日々の業務改善により、事業活動における環境負荷の軽減に取り組んでまいります。

※GWP：温室効果ガスが地球温暖化に与える影響の大きさをCO₂を基準としてあらわした数値。



▲姫路港多目的物流倉庫